

ひこさん 英彦山

所在地/添田町
指定/史跡



英彦山の遠望

英彦山は、大きくて個性的な姿をした霊山（※1）です。頂上は、北岳、中岳、南岳と呼ばれる、三つの峰に分かれていて、一番高い南岳は標高1199mです。福岡県内では3番目に高く、自然が豊かなことで知られています。この山の主役は英彦山神宮です。北岳、中岳、南岳のそれぞれや山の中には、多くの神々がいるとされ、それらの神々をまつているのです。英彦

山は、神の山という印象があります。そして昔は修験道（※2）が栄えていたことから、山伏の山という印象もあります。今も時々山中で、山伏が法螺貝を吹く姿が見られます。

ただこの山は、かつては仏教の聖地でもありました。日本では明治時代まで千年以上、神社に仏様がいたり、寺に神様がいたりするのは普通でした。しかし、明治新政府はそれを禁止し、仏教と神道を別々にしました。その影響で英彦山からも仏教が取り除かれたのです。

しかし実は、英彦山神宮で一番大きな建物の奉幣殿は1616年に建てられ、もともとは山内の寺の中心的な建物でしたし、英彦山修験道館や山伏文化財室に行くと、神像と並んでたくさんの仏像を見ることもできます。仏教の面影も確かにのこっています。英彦山は大昔から今に至るまで、神仏と人と自然とが共生している山なのです。

※1 霊山：神さまがそこにいると信じられ、みんなからとても大切にされている山。

※2 修験道：山へ籠もって厳しい修行を行うことにより、悟りを得ることを目的とする日本古来の山岳信仰が仏教に取り入れられた日本独特の宗教。

【もつとくわしく調べたい】

○九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 TEL 0942-75-9575

【行ってみたい】

○英彦山神宮 田川郡添田町英彦山 1 TEL 0947-85-0001

○英彦山修験道館 田川郡添田町英彦山 669 TEL 0947-85-0378

○山伏文化財室 田川郡添田町英彦山 1478 TEL 0947-85-0375